

ウォーキング

初詣・二見輿玉神社参拝

令和8年1月10日(土)



二見浦・夫婦岩

1. ルート JR二見駅～輿玉神社・夫婦岩～御塩殿神社～御塩浜～二見海岸スポーツ公園(昼食)～JR二見駅

10.5km (16,500歩)

2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・市川義行・喜吉 雄・高木 勉・中村軍志
中村 衛・濱田 一

8名

3. ドキュメント

四日市方面から参加のみなさんは近鉄で津駅まで行き、津駅でJR「みえ快速」に乗り換えて伊勢市の二見浦駅に降り立つ。二見浦駅前に10時30分集合。喜吉部長の新年のあいさつを受けて初詣ウォーキングの出発となる。駅から15分ほどのところに二見輿玉神社が祀られている。二見浦は修学旅行のメッカとして全国的に知られていてバチあたりの言い方をすれば神社よりも夫婦岩が有名な観光資源であろうか。



夫婦岩をイメージした JR 二見浦駅舎

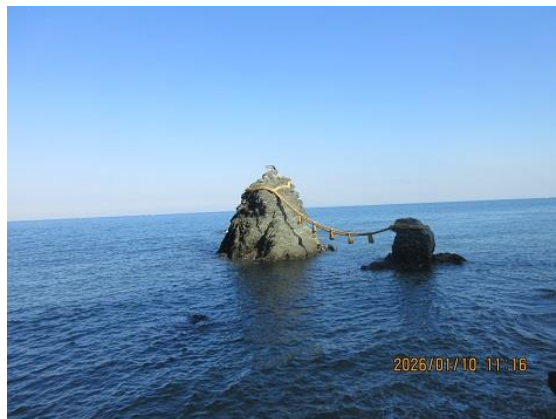


輿玉神社にお詣

国道を離れて旅館街に入ると目の前都のに伊勢湾が広がり、松原が続きその松原に沿って旅館が立ち並んでいる。かつては修学旅行生や観光旅行客で賑わっていたが今はそれ程でもないらしい。その一角に古風な建物があり「賓日館」と書かれていた。「ひんじつかん」と読むらしい。何に使った建物だろうと歩きながら話をしていた。するとその数日後の中日新聞に長期休館へと載っていて6年間かけて修復するとのことである。今は旅館業から撤退しているが過去は皇室や各国の要人らが宿泊・休憩するのに使われたとのことである。



中日新聞の記事より転載



二見浦の夫婦岩

旅館街を抜けるとすぐ興玉神社の社が祀られている。多くの人が訪れていてしばらく並んでお詣をする。きれいな海辺に大小二つの岩が大しめ縄で繋がれている。これが有名な夫婦岩である。夫婦岩の前でいつもの記念撮影を撮る。神社の前に銅製のカエル像が置かれていた。今日も無事に家に帰ることを願って祈願する。



無事カエル



後列左より 中村衛・伊藤利・中村軍・濱田
前列左より 喜吉・伊橋・高木・市川

11時10分ごろ、夫婦岩をあとにして海岸線を御塩殿神社向かって歩き始める。この日は比較的暖かく風もなく快調に歩くことができた。もし翌日の11日ならば強風で寒く歩くことができなかつたであろうとつくづく思う。松林と並行して続く堤防からは雪の被った鈴鹿の山並みもうっすらと見ることができた。快調に歩いていくと突然防潮堤の扉に行き先を阻まれて思案・・・戻るのも大変・・・1mぐらいの高さだったので乗り越えることにした。あまりいい格好ではなかつただろう。



二見海岸から鳥羽方面を望む



堤防道路を歩く

12時ごろ、御塩殿神社に到達。この神社は伊勢神宮直轄の宮で供物や神事で使う多量の御塩を作る神社でこの後、訪れる御塩浜からくみ上げた海水を天日に干して濃度を上げ、最後に火で炊いて焼き固めて作るとのことである。神々しい雰囲気の中、お詣りする。そこから田畑の中の道を30分ぐらい行ったところに御塩浜があった。冬のためか浜には海水が張られていなかった。



御塩殿神社



御塩浜

御塩浜で時すでに 12 時 30 分、神宮御園に立ち寄る予定を変更して国道 42 号を通り旅館街の方面に向かって歩く。13 時 30 分、二見海岸スポーツ公園に到達。シートを敷いて乾杯となる「今年も元気に歩きましょう」と。差し入れのお酒も加わって話も弾み、時間のたつのも忘れるぐらいとなる。二見浦駅まで戻り 15 時 06 分の快速みえで家路に就く。

